

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和5(2023)年度)

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

経営改善及び連携・活用に関する方針															
法人の概要	<p>1 法人の事業概要 (1) 冷蔵凍結の業務 (2) 水の製造及び販売 (3) 上記に付帯する一切の業務</p> <p>2 法人の設立目的 上記事業を通じて、市民への生鮮食料品等の供給拠点である川崎市中央卸売市場北部市場の冷蔵・冷凍保管機能等を担い、市民の豊かな食生活を支えることを設立目的としています。</p> <p>3 法人のミッション 食の安全・安心が求められている中、冷蔵・冷凍保管機能等のサービス提供や凍水の製造販売を行うことにより、市民への安定的な食料供給体制の一翼を担います。また、独立した法人として経営を行うよう効率的な業務運営に努め、持続可能な安定した経営を確保していきます。</p>														
本市施策における法人の役割	<p>生鮮食料品等を大量に取引する北部市場においては、取り扱い物品の円滑な流通を図るために冷蔵・冷凍保管機能が必要不可欠であり、冷蔵・冷凍設備は、欠かすことのできない設備です。また、これらの業務や施設の運営は専門性が高いことから、専門性を有した外部主体の活用が効果的です。当該法人が柔軟かつ効率的な業務運営を行うとともに、公共性を保持しつつ企業の創意と工夫を行うことにより、市民への安定的かつ効率的な生鮮食料品等の供給を実現するための一翼を担っています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">市総合計画に関連する政策等</th> <th style="width: 30%;">政策</th> <th style="width: 30%;">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">法人の取組と関連する市の計画</td> <td></td> <td>政策4-1 川崎の発展を支える産業の振興</td> <td>施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>関連する市の分野別計画</td> <td colspan="2">川崎市卸売市場経営プラン【平成28(2016)年度-令和7(2025)年度】</td> </tr> </tbody> </table>				市総合計画に関連する政策等	政策	施策	法人の取組と関連する市の計画		政策4-1 川崎の発展を支える産業の振興	施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成		関連する市の分野別計画	川崎市卸売市場経営プラン【平成28(2016)年度-令和7(2025)年度】	
	市総合計画に関連する政策等	政策	施策												
法人の取組と関連する市の計画		政策4-1 川崎の発展を支える産業の振興	施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成												
	関連する市の分野別計画	川崎市卸売市場経営プラン【平成28(2016)年度-令和7(2025)年度】													
現状と課題	<p>1 現状 北部市場水産物部の取扱量が低迷を続ける中、冷蔵庫利用ニーズを踏まえ、稼働率を上げることで売上を確保するとともに、計画的な修繕による経費の平準化や効率的な動力の運用による動力費の抑制などによる経費の削減に向けた取組を継続的に進めています。「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」等を通じて、「経営改善基本計画書」の進捗管理やこれら経営改善に向けた取組の検証を行っており、令和元(2019)年度には債務超過を解消するなど、経営の改善が図られています。</p> <p>2 課題 債務超過は解消したものの、依然として利益剰余金がマイナスで借入金の残債があり、また経営支援として、現在市より使用料の減免を受けている状況であることから、今後もさらなる経営改善を進め、独立した法人として経営が行われるよう取組を進めていく必要があります。併せて、新型コロナウイルス感染症の影響による市場取扱量の増減は経営に影響を及ぼすことから、市や場内事業者等と連携しながら、引き続き注視するとともに、経営の効率化を進める必要があります。</p>														
取組の方向性	<p>1 経営改善項目 場内事業者の利用ニーズを踏まえ、場内外事業者への効果的な営業展開等に努め、稼働率の向上、売上の確保を図るとともに、計画的な修繕や動力費の抑制等により経費の削減を、継続してまいります。併せて、経営の健全化に向けて、「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を継続し、「経営改善基本計画書」に基づき、効率的な運営に努めてまいります。また、独立した法人として経営が行われるよう使用料の減免の見直しを進めるとともに、機能更新を見据えて基本的な経営の方向性について市と協議してまいります。</p> <p>2 連携・活用項目 市民に安定的かつ効率的に生鮮食料品等を供給する卸売市場の機能は、今後とも大変重要で必要な機能です。効率的で安定的な経営を確保しながら、場内事業者等に対して冷蔵・冷凍保管機能等のサービス提供や凍水の製造販売を行うことは、その機能の実現に大きく寄与するものであることから、今後とも連携・活用を図っていきます。</p>														

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4年計画の目標

- ・市民に安定的かつ効率的に生鮮食品等を供給する卸売市場の機能は、今後とも大変重要で必要な機能です。当該法人が、効率的で安定的な経営を確保しながら、場内事業者等に対して冷蔵・冷凍保管機能等のサービス提供や凍水の製造販売を行うことは、その機能の実現に大きく寄与するものであることから、今後とも連携・活用を図っていきます。
- ・場内事業者の利用ニーズを踏まえ場内外事業者への効果的な営業展開等に努め、稼働率向上及び売上の確保を図るとともに、計画的な修繕や動力費の抑制等により経費の削減を引き続き行っていきます。
- ・引き続き、「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を開催し、「経営改善基本計画書」に基づき、効率的な運営に努めてまいります。
- ・当該法人が建設した3号棟冷蔵庫にかかる借入金を、経営改善計画に基づき返済を進めるとともに、市からの使用料の減免については、令和6(2024)年度の借入金の返済終了時に向けて、「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」での意見等も踏まえ、独立した法人として経営が行われるよう開設者と協議し見直してまいります。
- ・今後の経営に向けては、基本的な方針の作成に向けて取組みを進めるとともに、北部市場の機能更新後のあり方に向けて、独立した法人としての対応を市と協議していきます。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和5 (2023)年度)	実績値 (令和5 (2023)年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の方向性 (※4)
①	冷蔵・冷凍保管業務事業	一般保管取扱量(在庫量)	16,086	17,707	14,576	t	c	D	II
		容積稼働率(容積ベース)	95.1	96	90.7	%	c		
②	水の製造及び販売業務事業	凍水販売量	475	754	631	t	b	C	II

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和5 (2023)年度)	実績値 (令和5 (2023)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の方向性
①	経常利益の確保	経常利益	37,817	17,497	11,174	千円	c	D	II
②	自立的・安定的な経営の実施	有利子負債比率	259.1	47.2	40.5	%	a	C	II
		主要な売上高	372,170	384,046	356,706	千円	c		
		使用料の減免金額	24,629	24,629	24,629	千円	a		

3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和5 (2023)年度)	実績値 (令和5 (2023)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の方向性
①	効率的な業務体制の確保	売上高に対する人件費率	28.8	28	31.8	%	c	D	II

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

法人及び本市による総括

【令和4(2022)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

北部市場水産物部の取扱量の減少、急激な物価高騰のほか、動力費が前年度より減少したとはいえ依然として高い水準にあり今後の状況が不透明であることなど当社の経営環境は厳しい状況にありますが、場内事業者の利用を最優先としながら場内・場外事業者等への営業活動を行い、売上高の確保に努めた結果、経常利益は黒字を確保しました。

また、長期借入金の返済、施設保全に必要な修繕を着実に実施するなど、令和6年度より減免申請を行わないことを見据え自立的・安定的な経営の確保に向けて取り組みました。

【令和5(2023)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

北部市場水産物部の取扱量が前年比87.2%と下落していることに加えて、動力費が令和3年度以前の水準と比べると高止まりしていることもあり、一般保管取扱量や容積稼働率、凍水販売量のほか、経常利益、主要な売上高、人件費率など多くの指標について、目標を達成することができませんでしたが、新規顧客の獲得や有利子負債の着実な返済を進めた結果、経常利益は黒字を確保することができました。今後は、中期事業計画に基づき、経費の削減や積極的な営業展開を図り安定的な経営に努めていただくことを期待します。特に、令和6年度からの減免の終了や動力費の高騰に備え、より一層の効率的な経営に努めるとともに、電気料金の上昇に対応した利用料金の見直し等により経常利益の確保を図る必要があります。

法人名（団体名）	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組①（令和5（2023）年度）

事業名	冷蔵・冷凍保管業務事業
計 画（Plan）	
現状	新型コロナウイルス感染症の影響や市場間競争など、卸売市場を取り巻く環境は厳しい状況であり、北部市場水産物部の取扱量も低迷を続けています。そのため、場内事業者の需要の減少等により一般保管取扱量は減少傾向にあり、稼働率の向上等売上の確保に努めていく必要があります。
行動計画	卸売市場として冷蔵・冷凍保管機能を担う重要な事業となるため、引き続き、青果部や花き部を含めた北部市場全体の需要の掘り起こしに努めるなど、一般保管取扱量及び容積建稼働率の確保・増加に努め、事業を推進します。
具体的な取組内容	水産物部の取扱量は依然として低迷し、電気料金については先行きが不透明な状況が続いているなど、経営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が想定される中、日々の業務を通じて事業者の需要や取引状況等の把握に加え、水産物部に限らず新規事業者や新たな取引を始めた事業者等の店舗を直接訪問し、事業内容に即した提供可能なサービス説明や有効な活用方法の提案等を実施するなど場内事業者の需要の掘り起こしを行うとともに、場内事業者の利用ニーズを踏まえ、ホームページ等も活用しながら、場内外事業者への営業展開等に努めるなど、取扱量及び稼働率の向上に努めてまいります。

実施結果（Do）

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 一般保管については、場内事業者などへの営業活動を行い取扱量の増加に努めましたが、北部市場水産物部の取扱量の減少の影響を受け一般保管取扱量の在庫量は14,576t（令和4年度比96.2%）となり、一般保管売上高は146,076千円（令和4年度比98.1%）となりました。</p> <p>【指標2関連】 全体の容積建稼働率は、90.7%（令和4年度比2.1ポイント減）となり、その結果容積建売上高は196,770千円（令和4年度比97.1%、5,851千円減）となりました。このうちF級（-20℃、全収蔵能力の54.7%）については、場内事業者の廃業に伴う解約等により月間稼働率が91.9%にまで減少した影響で、年間稼働率は98.1%（令和4年度）から94.5%（令和5年度）に減少しました。一方、SF級（-40～-50℃、全収蔵能力の20.5%）についても、場内事業者の廃業に伴う解約等により、年間稼働率は75.1%（令和4年度）から73.7%（令和5年度）に減少しているものの、営業努力による新規顧客（新たに開業した水産仲卸業者等）の利用開始や既存顧客の利用拡大があり、令和6年3月末時点の稼働率は80.7%に上昇しています。 ※容積建の残り24.7%はC級（0℃、年間稼働率は97.1%）</p>
----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	一般保管取扱量(入庫量)	目標値	16,086	17,669	17,707	17,748	17,748	t
	説明 一般保管に関する年間入庫量	実績値		15,147	14,576			
2	容積稼働率(容積ベース)	目標値	95.1	96	96	96	96	%
	説明 容積稼働率に関する年間の容積ベース稼働率 ※R4～7年度個別設定値:94.5%(直近4年間の実績の平均値)	実績値		92.8	90.7			

指標1 に対する達成度	C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	C	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

一般保管取扱量(入庫量)については、関連事業者への営業活動に取り組みましたが、北部市場水産物部の取扱量の減少が続いている影響などから、令和4年度と比較して減少しました。容積稼働率については場内事業者の廃業により比較的容積の大きな倉庫が解約された影響があり令和4年度よりも減少しましたが、場内事業者への営業活動を実施し、SF級容積稼働の冷蔵庫について水産仲卸の既存顧客2社が規模を拡張(104.2m³→244.1m³、22.4m³→30.8m³)、新規顧客1社の利用開始(58.5m³)につなげるなど、容積稼働率の維持・向上に努めました。

 本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	D 水産物部の取扱量の更なる減少、仲卸事業者の廃業など、厳しい状況が続いていることもあり、指標1の一般保管取扱量について、目標値を達成することができませんでした。また、指標2の容積稼働率についても、目標値を達成することができませんでした。場内事業者の廃業に伴うF級(-20℃)の解約の影響によるもので、SF級(-40～-50℃)については、営業努力による新規顧客の利用開始や既存顧客の利用拡大があり、令和6年3月末時点の稼働率は、令和5年4月から9ポイント以上上昇しています。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	-	-	-	-	-	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		-	-	-	-	

行政サービスコスト に対する達成度	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

 本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度)等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止	Ⅱ

法人名（団体名）	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組②（令和5（2023）年度）	
事業名	氷の製造及び販売業務事業
計 画（Plan）	
現状	新型コロナウイルス感染症の影響や市場間競争など、卸売市場を取り巻く環境は厳しい状況であり、北部市場の水産物部の取扱量も低迷が続いています。それら荷の減少、さらには利便性から自前の製氷装置で氷を作る業者が増えてきており、場内事業者への売上は減少傾向にあります。市場の冷凍・冷蔵保管機能を担っており、継続していく必要があります。
行動計画	北部市場水産物部の取扱量が低迷を続ける中であっても、今後も卸売市場の冷蔵・冷凍保管機能を担う重要な事業です。場内事業者への売上は減少傾向にあるものの、需要の掘り起こしに努めるとともに、更なるPRや営業強化等に努め、引き続き、事業を推進していきます。
具体的な取組内容	イベント需要が回復傾向にあり、令和3年度より販売量が増加しましたが、依然として目標値に達していない状況であることから、場内事業者への需要の掘り起こしに加えて、ホームページにおける動画等を活用したPRや北部市場の近隣自治会や事業者等に氷チラシのポスティングを行います。また、経費の削減に向けて、販売方法についてコイン販売は年間を通し継続するものの、窓口販売を販売量に合わせ7月から9月の3か月間に限定することで人件費の抑制を行い、収支の改善を目指してまいります。

実施結果（Do）	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなったこともあり、凍氷の販売量が回復したことから、窓口販売を令和4年度までは7月～8月の2ヶ月間だったものを9月まで1ヶ月間延長し販売量増加に対応いたしました。また、ホームページによるPRの他、日頃からの顧客への営業活動の際に凍氷の販売促進・PRを行うことに加えて、北部市場近隣の自治会や事業者、店舗に氷チラシのポスティングを実施し、新たな利用拡大に向けて取り組みました。</p>

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	凍水販売量	目標値	475	680	754	808	808	t
	説明 凍水の年間販売量	実績値		515	631			

指標1
に対する達成度

b

- a. 実績値が目標値以上
- b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満
- c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満
- d. 実績値が目標値の60%未満

※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

北部市場水産物部の取扱量の減少や場内事業者による製氷機導入等の影響はありましたが、令和5年度は夏の気温が比較的高く推移したことや新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されて夏祭りや花火大会等のイベントが再開されたことなどから、凍水販売量は令和4年度を上回る年間631t(令和4年度比122.5%)となりましたが、目標値を達成することはできませんでした。

本市
による評価

達成状況

区分

区分選択の理由

- A. 目標を達成した
- B. ほぼ目標を達成した
- C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
- D. 現状を下回るものが多くあった
- E. 現状を大幅に下回った

C

凍水販売量は、北部市場水産物部の取扱量の減少や場内事業者の製氷機の導入等の影響により減少傾向にあるなかで、イベント等の再開のほか、ホームページによるPR等に努めるなどした結果、目標値に達しなかったものの、令和4年度比122.5%と大幅に増加したため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	-	-	-	-	-	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		-	-	-	-	

行政サービスコスト
に対する達成度

- 1). 実績値が目標値の100%未満
- 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満
- 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満
- 4). 実績値が目標値の120%以上

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

本市
による評価

費用対効果
(「達成状況」と「行政
サービスコスト」に対する
達成度)等を踏まえ
評価)

区分

区分選択の理由

- (1). 十分である
- (2). 概ね十分である
- (3). やや不十分である
- (4). 不十分である

改善 (Action)

実施結果(Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名（団体名）	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

2. 経営健全化に向けた取組①（令和5（2023）年度）

項目名	経常利益の確保
計画（Plan）	
現状	水産物部の取扱量の低迷が続く中、稼働率の向上や経費の抑制に努め、長期借入金の返済原資となる経常利益を確保しています。
行動計画	引き続き、効率的な運営に努め、長期借入金の返済原資となる経常利益を確保するとともに、持続可能な長期的会社運営の視点に立ち、経営を行っていきます。なお、令和6（2024）年度以降は、使用料の減免見直しにより、令和5（2023）年度までの目標値から、概ね24,600千円強の減額を見込んだものとします。
具体的な取組内容	施設使用料の減免が令和6年度に終了となることに向けて、中期事業計画に基づき、冷蔵・冷凍サービスの維持向上に取り組むとともに、営業展開に努め、稼働率を確保するなど売上の維持・増加を図り、計画的な修繕の実施や経費の節減に努め、経常利益を確保してまいります。

実施結果（Do）

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>凍氷販売は販売量が631t（前年度比122.5%）と一定程度回復をしましたが、一般保管取扱量が14,576t（令和4年度比96.2%）と減少し、容積稼働率についても90.7%（令和4年度92.8%）と低下したことなどから、売上は、356,706千円と令和4年度比98.5%に減少しました。</p> <p>また、3号棟冷蔵庫自動倉庫制御盤更新工事（9,380千円）を実施するなど、会社の安定した経営環境の確保に向けて対応しました。</p>
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価（Check）

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度（現状値）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	経常利益	目標値		45,088	17,497	1,957	5,221	千円
	説明 営業収益に営業外収益を加えた金額から、営業外費用を除いた金額で、企業の経常的な活動から生じた利益	実績値	37,817	14,074	11,174			
指標1に対する達成度		<p>C</p> <p>a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値（個別設定値）以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値（個別設定値）未満 d. 実績値が目標値の60%未満</p> <p>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載</p>						
法人コメント（指標に対する達成度やその他の成果等について）								
<p>光熱費高騰などの状況を踏まえ、令和5年度より目標値を変更しておりますが、凍氷販売は増加し、動力費（電気料金）も中期事業計画の想定を下回りましたが、北部市場水産物部の取扱量の減少を受けて、売上高は想定を2,700万円程度下回り、また、販管費のうち人件費が想定から800万円程度増加したこと等により、経常利益は目標を達成することができませんでしたが、11,174千円（計画比▲6,325千円）となり、黒字を確保しました。</p>								

本市による評価

達成状況

区分

区分選択の理由

- A. 目標を達成した
- B. ほぼ目標を達成した
- C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
- D. 現状を下回るものが多くあった
- E. 現状を大幅に下回った

D

動力費（電気料金）は想定を下回ったものの、北部市場水産物部の取扱量の減少に伴う売上高の減少や、人件費の増加等の影響により、経常利益が目標値を下回る結果となったため。

改善（Action）

実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅱ	今後も北部市場水産物部の取扱量減少の影響等により経営環境は厳しい状況が続くことが想定されますが、引き続き北部市場内の場内事業者への営業活動を実施して利用の維持・拡大に取り組むとともに、電気料金の上昇に対応した利用料金の見直し等による収入増加を図るなど、中期事業計画に基づき、安定的な経営を確保するよう努めていきます。

法人名（団体名）	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

経営健全化に向けた取組②（令和5（2023）年度）

項目名	自立的・安定的な経営の実施
計画（Plan）	
現状	水産物部の取扱量の減少等の影響を受け、令和2（2020）年度の売上高は前年比97.6%と減少しています。こうした中、長期借入金の返済を計画的に実施しており、令和6（2024）年度の返済終了を目指しています。
行動計画	令和6（2024）年度の返済終了を目指し、長期借入金の返済を計画的に進め、有利子負債比率の改善を進めるとともに、自立的かつ安定的な経営に向けて、売上高の維持・向上に努めていきます。また、現在行われている使用料の減免については、令和6（2024）年4月に廃止していただくことを予定しております。
具体的な取組内容	中期事業計画に基づき、売上高の確保や経費の抑制等に取り組むことで経常利益の確保に努め、令和6年度の長期借入金の返済終了に向けて計画通り返済（49,200千円）を実施し有利子負債比率の削減を進めるなど、令和6年度の使用料の減免終了に向けて、経営基盤の強化を図ってまいります。

実施結果（Do）

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 有利子負債比率については、有利子負債については計画どおり（年間49,200千円）返済したことに加え、当期純利益を確保することができたことから、純資産は76,607千円となり、有利子負債比率は40.5%となりました。</p> <p>【指標2関連】 凍氷販売量については、夏の気温が比較的高く推移したことや新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されイベントの再開等により令和4年度より増加したものの、一般保管取扱量については北部市場水産物部の取扱量減少もあり14,576トン（令和4年度比96.2%）と減少したほか、容積建稼働率も90.7%（令和4年度稼働率92.8%）と低迷したことから、主要な売上高は、356,706千円（令和4年度比98.5%）となりました。</p> <p>【指標3関連】 令和6年度の使用料の減免終了に向けて、令和4年度に策定した「中期事業計画」に基づいた経営を行いました。</p>
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

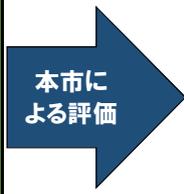
評価（Check）

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度 （現状値）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	有利子負債比率	目標値	259.1	104.8	47.2	28.4	24.9	%
	説明	純資産に対する利払い及び返済が必要な有利子負債の割合		実績値	126.3	40.5		
2	主要な売上高	目標値	372,170	382,184	384,046	385,523	385,523	千円
	説明	本業を示す主要な売上高		実績値	362,247	356,706		
3	使用料の減免金額	目標値	24,629	24,629	24,629	0	0	千円
	説明	施設利用に係る使用料の減免金額		実績値	24,629	24,629		

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	c	
指標3 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

北部市場水産物部の取扱量の減少や場内事業者の廃業等の影響があり、売上高が減少したことから指標2は目標を達成できませんでしたが、借入金の返済を計画とおりに行った結果、有利子負債比率は40.5%となり指標1は目標を達成しました。施設利用に係る使用料の減免については、令和4年度策定した「中期事業計画」に基づいた経営に努めた結果、令和6年度より減免申請を行わないこととしたことから、指標3は目標達成とします。



達成状況	区分		区分選択の理由
	A	C	
A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った		C	売上高の減少を受けて、指標2について目標を達成することができませんでしたが、指標1は着実な有利子負債の返済を実施したほか、指標3についても、令和6年度より減免申請を行わないなど、着実に取組を実施しているため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	I	II	
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II	北部市場水産物部の取扱量減少や急激な物価高に加えて、依然として高い水準にある電気料金等、会社を取り巻く経営環境は厳しく不透明な状況が続くものと想定していますが、場内事業者特に水産物部以外の関連事業者等への需要掘り起こしや、場内事業者の利用ニーズを踏まえた場外事業者の売上増加に向けた取組を実施するとともに、電気料金の上昇に対応した利用料金の見直し等により売上高の増加を図り、借入金を完済して安定的な経営環境の整備を進めていきます。なお、令和6年度より減免申請は行いません。

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和5(2023)年度)

項目名	効率的な業務体制の確保
計画(Plan)	
現状	水産物部の取扱量の低迷が続く中、稼働率向上に向け場内外事業者への効果的な営業展開等に努め、売上の確保や経費の削減を図りつつ、効率的な業務体制を確保していく必要があります。
行動計画	水産物部の取扱量の低迷が続く状況において、現在も一定の利益を確保している状況ですが、人件費を現状以下とすることで、売上高に対する人件費率の維持・改善を目標とするなど、売上高規模も踏まえたより効率的な業務体制を目指し、安定的な経営を確保していきます。
具体的な取組内容	場内事業者の需要の掘り起こし等売上高の確保及び経費の節減に努めるとともに、引き続き効率的な業務体制を確保し、安定的な経営を図っていきます。また、4月より勤怠管理システムを本格稼働させ、業務の省力化を図るとともに、より適切な労務管理に努めてまいります。

実施結果(Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 ICカードによる勤怠管理システムの稼働により、以前は紙ベースで処理していた労務管理業務の省力化に取り組み経費削減に努めましたが、世代交代のための職員採用を行ったこと等による人件費の増や、売上高は北部市場水産物部の取扱量減少等の影響を受けて減少をしたことから、目標を達成することができませんでした。
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価(Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	売上高に対する人件費率	目標値	28.8	28	28	28	28	%
	説明 本業を示す主要な売上高に対する人件費及び役員報酬の合計額の割合 ※R4～7年度個別設定値:30.2%(現状値の105%)	実績値		29.3	31.8			
指標1に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
世代交代のための職員採用を行ったこと等による人件費の増や、北部市場水産物部の取扱量の減少や容積稼働率の低下等による売上高の減少のため、目標を達成できませんでした。								

本市による評価

達成状況

区分

区分選択の理由

- A. 目標を達成した
- B. ほぼ目標を達成した
- C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
- D. 現状を下回るものが多くあった
- E. 現状を大幅に下回った

D

水産物部の取扱量が減少する状況において、冷蔵・冷凍保管事業における新規顧客の獲得を進めるなど、売上高の確保に向けた取組を進めましたが、世代交代のための職員採用を行ったこと等による人件費の増や、売上高が減少したことを受け、目標値を達成できなかったため。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
---------	----------	-----	--------------

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)

	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	
損益計算書	営業収益	372,170	362,247	356,706		
	営業費用(売上原価)	306,123	324,123	313,943		
	営業費用(販売費及び一般管理費)	28,354	25,385	34,083		
	うち減価償却費	21,960	22,672	22,037		
	営業損益	37,693	12,738	8,680		
	営業外収益	3,118	3,048	3,252		
	営業外費用	2,994	1,712	759		
	経常損益	37,817	14,074	11,174		
	税引前当期純利益	37,941	14,084	12,470		
	税引後当期純利益	26,677	13,904	12,290		

	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	
貸借対照表	総資産	437,450	401,372	344,144		
	流動資産	312,915	288,726	231,214		
	固定資産	124,536	112,646	112,930		
	総負債	387,038	337,055	267,537		
	流動負債	93,366	104,368	44,467		
	固定負債	293,672	232,687	223,070		
	純資産	50,413	64,317	76,607		
	資本金	50,000	50,000	50,000		
	剰余金等	413	14,317	26,607		

主たる勘定科目の状況(単位:千円)

	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
営業収益	362,363	351,503	342,845		
営業費用	9,807	10,744	13,860		
総資産	274,733	245,011	193,185		
総負債	130,613	81,231	31,055		

本市の財政支出等(単位:千円)

	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金					
負担金					
委託料					
指定管理料					
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出捐金(年度末状況)	40,000	40,000	40,000		
(市出捐率)	80.0%	80.0%	80.0%		

財務に関する指標

	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)	335.1%	276.6%	520.0%		
有利子負債比率(有利子負債/純資産)	259.1%	126.3%	40.5%		
経常収支比率(経常収益/経常費用)	111.2%	104.0%	103.2%		
純資産比率(純資産/総資産)	11.5%	16.0%	22.3%		
経常費用に占める市財政支出割合 ((補助金+負担金+委託料+指定管理料)/ 経常費用)					
収益に占める市財政支出割合 ((補助金+負担金+委託料+指定管理料)/ 経常収益)					

法人コメント

現状認識	今後の取組の方向性	本市コメント 本市が今後法人に期待することなど
<p>北部市場水産物部の取扱量の減少、仲卸業者の廃業、施設の老朽化などにより、経営環境は厳しい状況にあります。</p> <p>このような中、売上確保に向けた場内外事業者への営業活動により売上金額の減少を最小限に留め、長期借入金の返済(令和5(2023)年度49,200千円)を着実に行うとともに、経常利益11,174千円を確保しました。</p>	<p>場内事業者特に水産物部以外の関連事業者等への需要掘り起こしや、場内事業者の利用ニーズを踏まえた場外事業者の売上増加に向けた取組を実施するとともに、電気料金の上昇に対応した利用料金の見直し等により売上高の増加を図ることにより、令和6年度からは使用料の減免を受けることなく、安定的な経営の確保に取り組んでまいります。</p>	<p>厳しい経営環境が続く中で、計画どおり長期借入金の返済を行っています。今後も、不透明な状況が続くものと思われませんが、場内外事業者に対する積極的な営業展開や、電気料金の上昇に対応した利用料金の見直し等により売上高の増加を図ることにより、令和6年度からは使用料の減免を受けることなく、安定的な経営の確保に努めていく必要があります。</p>

(2)役員・職員の状況(令和6年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	3	0	1	5	1	0
職員	15	0	0	2	0	0

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性